

義務教育 9 年間を見通した指導体制の在り方等に関する検討会議
第 1 回検討会議（R 2 . 1 0 . 7） 兵庫県資料

義務教育 9 年間を見通した指導体制の
在り方等に関する検討会議（第 1 回）
令和 2 年 10 月 7 日（水）
【資料 7】

兵庫県教科担任制について

兵庫県教育委員会

○新学習システムの推進（平成13年度～）

兵庫県では、国の加配を活用して、個に応じたきめ細かな指導の一層の充実を図るため、指導体制の在り方を調査・研究

今年度の推進内容

校種	学年	主な推進内容	その他の推進内容				
小学校	第1学年 第2学年	35人 学級編制	少 人 数 授 業	★英語専科指導	★高学年 専科指導	小中一貫教育の推進	複式学級の指導体制
	第3学年 第4学年	35人 学級編制					
	第5学年 第6学年	兵庫型 教科担任制					
中学校	中学校 第1～3学年	少人数授業	部活動の指導補助				

★教員の負担軽減を目的とした加配

兵庫型教科担任制の導入の背景

小学校：学級担任制

- ・各教科を関連させた指導
- ・生活・学習習慣確立のためのきめ細かな指導

中学校：教科担任制

- ・教科内容の高度化への対応
- ・多面的な生徒理解や組織的・協力的な指導

発達段階を踏まえた教育の改善

- ・小学校 4 年生前後を発達の区切り



- ・小学校高学年における指導の工夫改善の必要性

学校間の連携や接続の改善

- ・中学校 1 年生での、問題行動の増加
- ・学習環境の違い



- ・新しい環境に入る際の円滑な移行の必要性

「教科担任制」と「少人数授業」を組み合わせた

「兵庫型教科担任制」の導入（H24～全県実施）

担任間の授業交換による「教科担任制」

【教員】

- 教員の専門性を生かした教材研究の充実（学力の向上）
- 教科担任に伴う教員の負担軽減（同じ授業を複数のクラスで指導）
- 複数の教員が関わることで、多面的な児童理解に基づく、組織的・協力的な指導の充実（いわゆる「学級王国」の防止）

【児童】

- 教員との人間関係の広がりや学習の深まりによる成長
- 教科担任を経験することによる小学校から中学校への円滑な接続

担任と加配教員による「少人数授業」

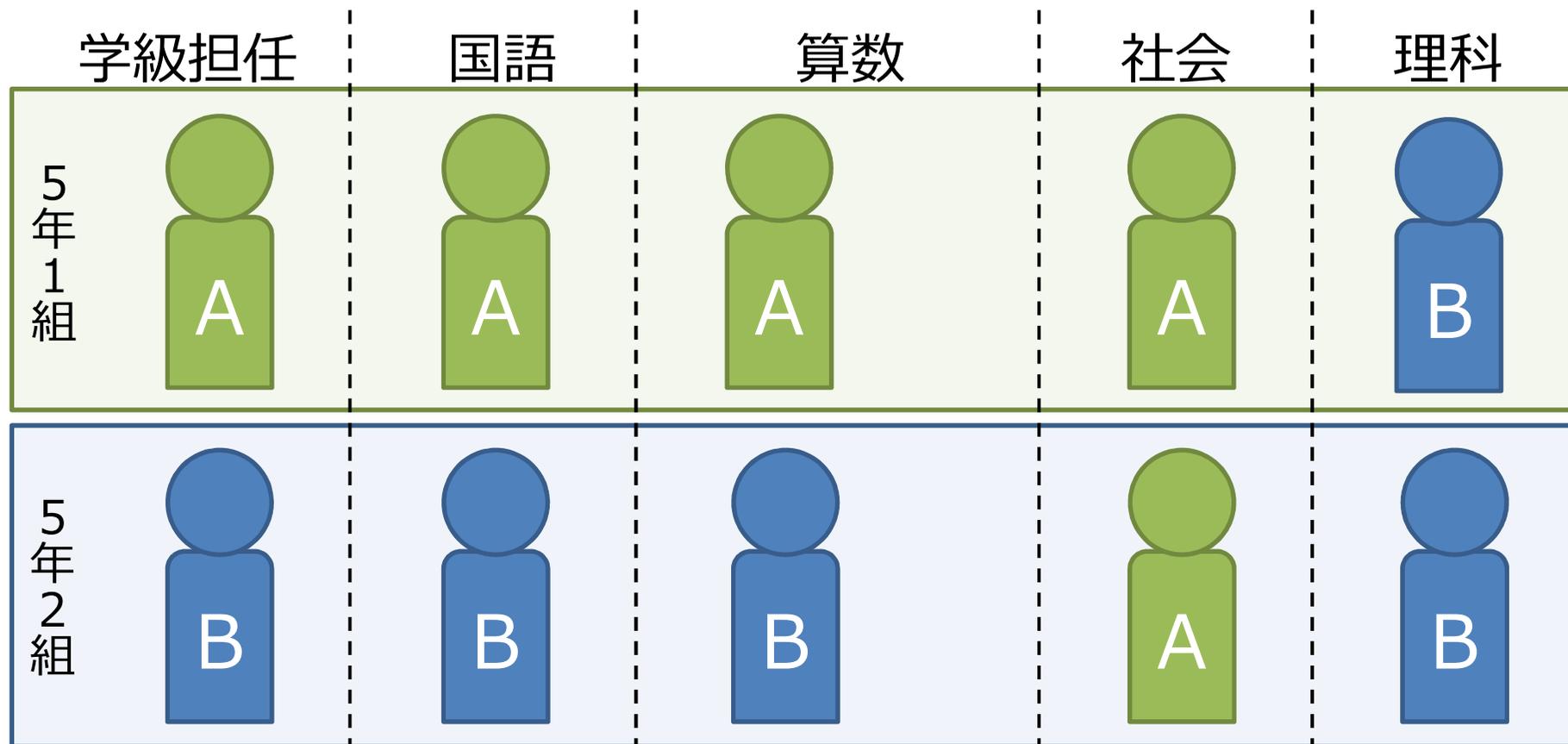
- きめ細かな指導による学力の向上
- ※旧学習指導要領で重視された言語活動の充実と理数教育の充実

※実施校：小学校5、6年生のいずれかが20人以上の学級を有する学校＋α

「教科担任制」と「少人数授業」を組み合わせた

兵庫型教科担任制

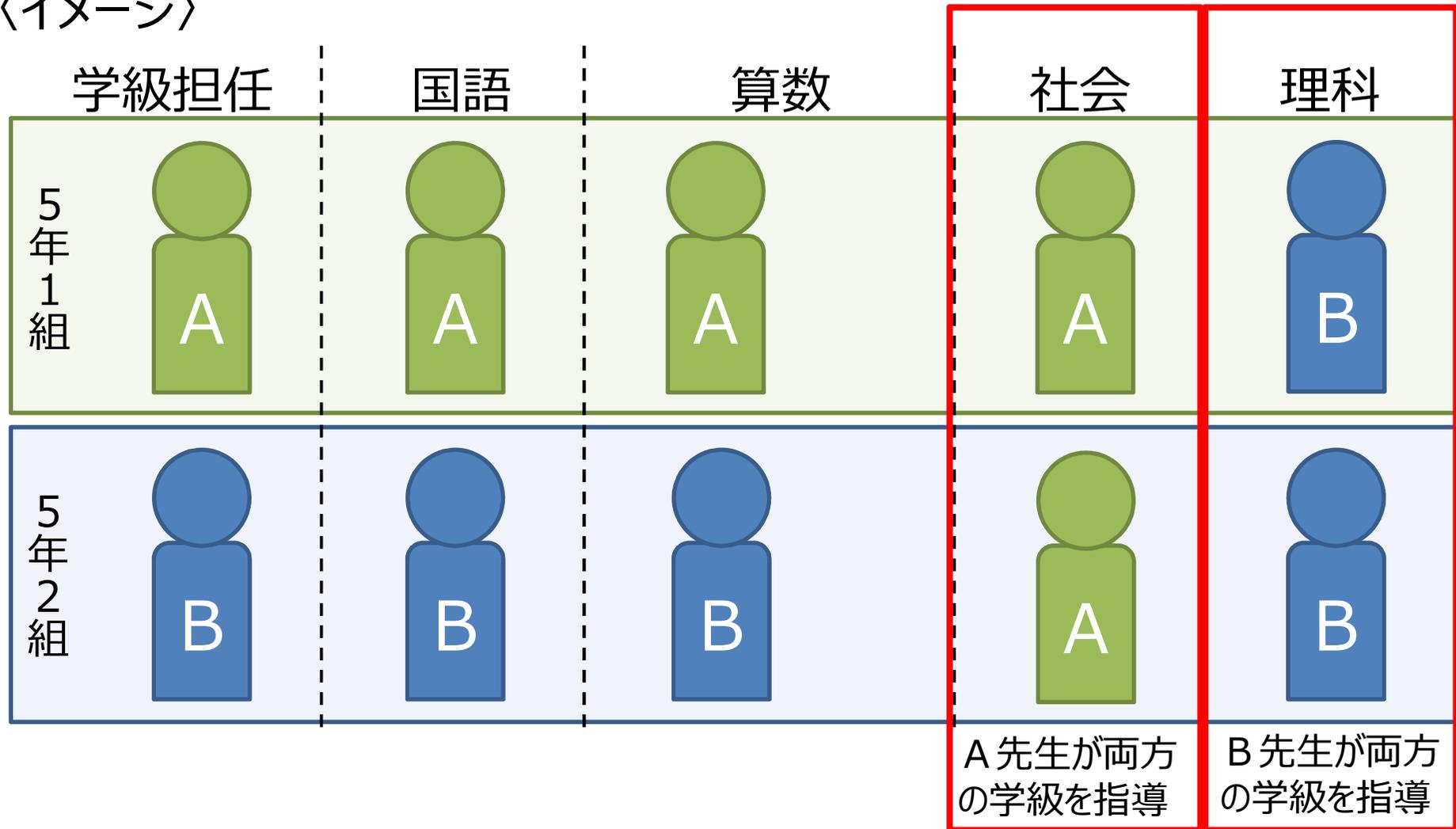
〈イメージ〉



「教科担任制」と「少人数授業」を組み合わせた

兵庫型教科担任制

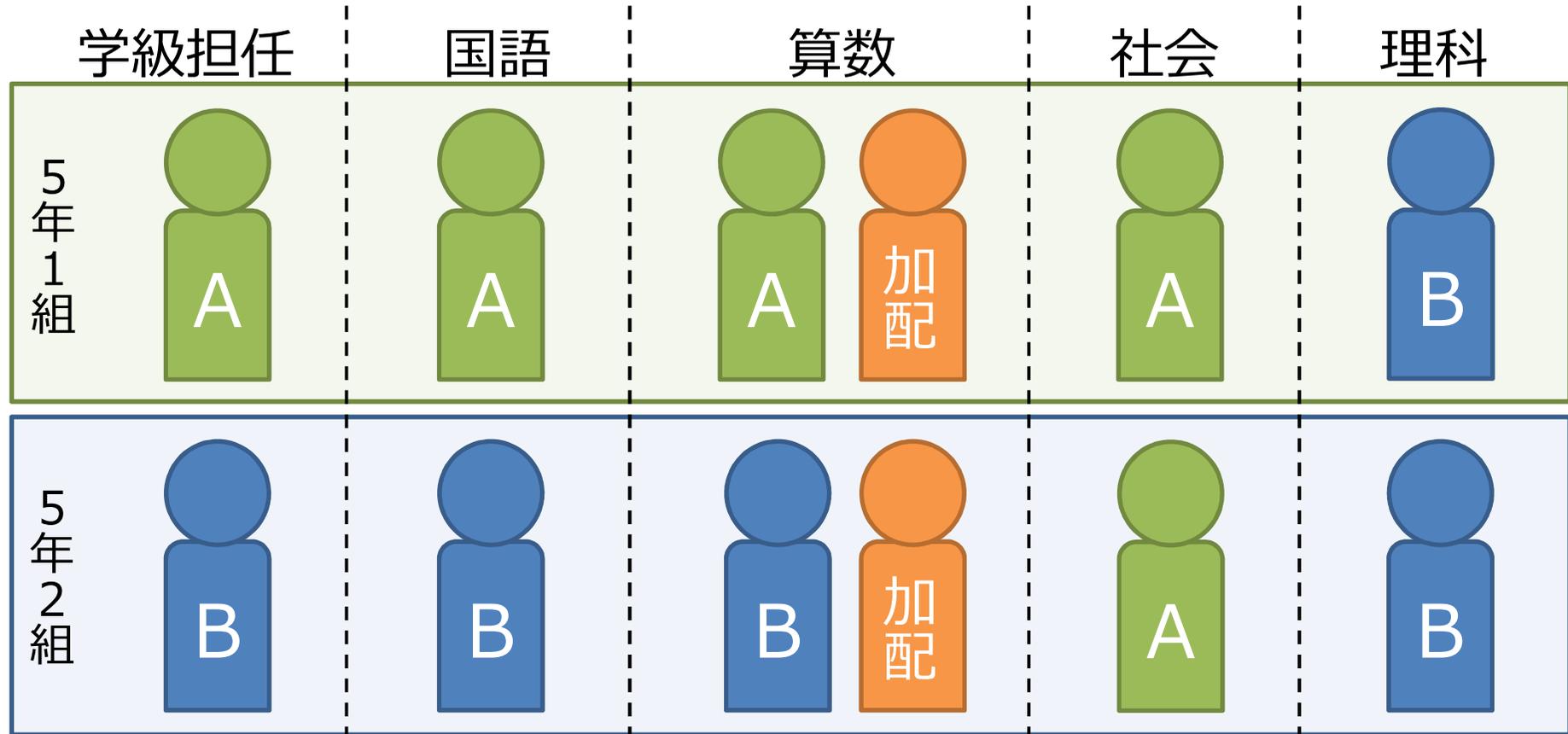
〈イメージ〉



「教科担任制」と「少人数授業」を組み合わせた

兵庫型教科担任制

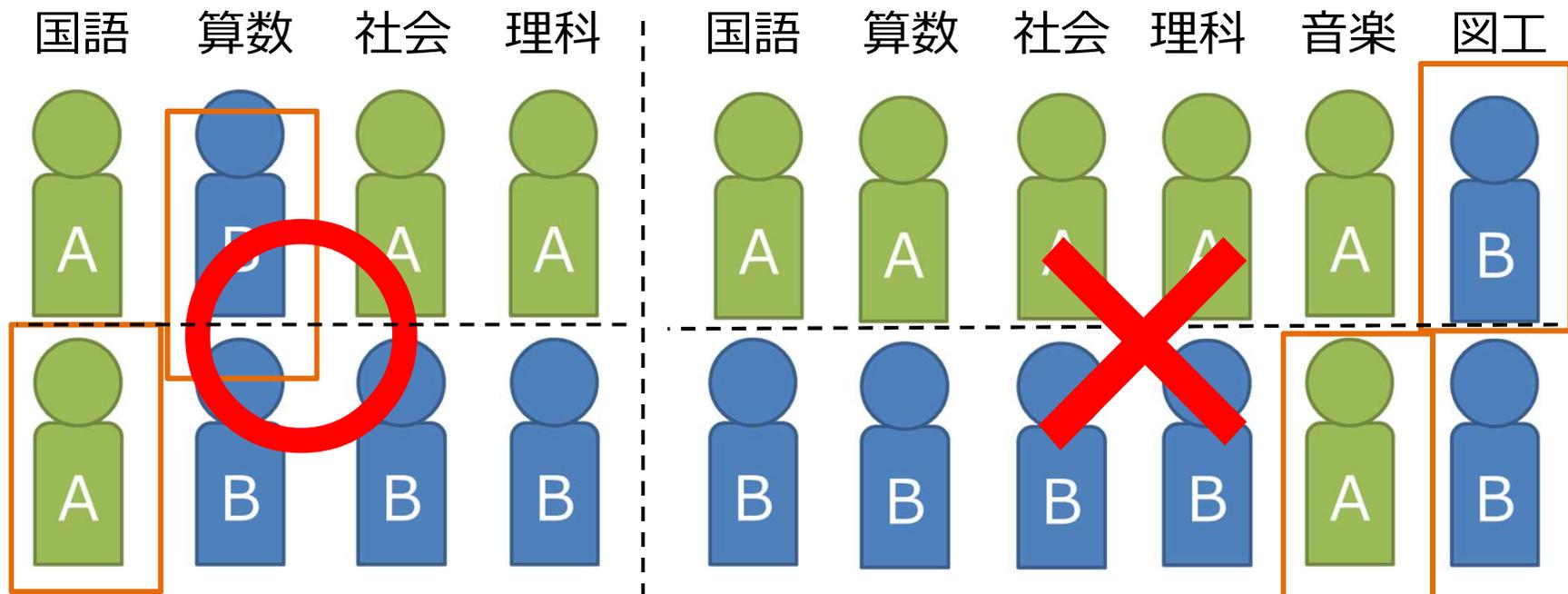
〈イメージ〉



担任と加配教員による少人数授業

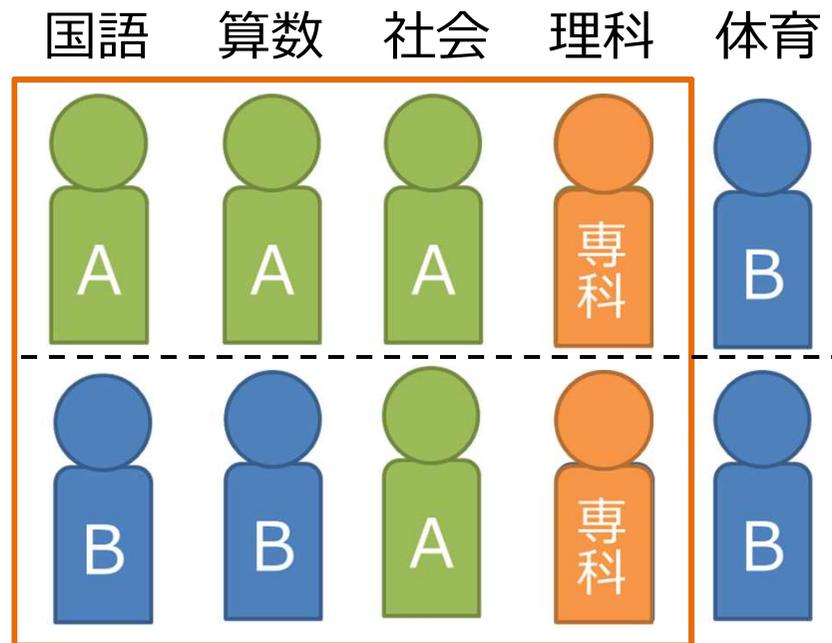
教科担任制

○国語、算数、理科、社会から2教科以上選択し、学級担任の交換授業を実施



教科担任制

- 国語、算数、理科、社会から2教科以上選択し、学級担任の交換授業を実施
- 上記教科において専科指導を行っている場合、他の教科を加えた交換授業も可



交換授業（例）

	国	算	社	理	音	図	家	体	外
5年1組	A	A	A	B	専	A	A	A	A
5年2組	B	B	A	B	専	B	B	B	B

- ・ 5年1組担任(A)・・・5年2組の社会（3時間）を指導
 - ・ 5年2組担任(B)・・・5年1組の理科（3時間）を指導
- ※音楽は専科の先生が指導

交換授業（例）

	国	算	社	理	音	図	家	体	外
5年1組	A	A	A	B	専	A	A	C	A
5年2組	B	B	A	B	専	B	B	C	B
5年3組	C	C	A	B	専	C	C	C	C

- ・A先生… 5年1～3組の社会（3時間）を指導
- ・B先生… 5年1～3組の理科（3時間）を指導
- ・C先生… 5年1～3組の体育（2.6時間）を指導

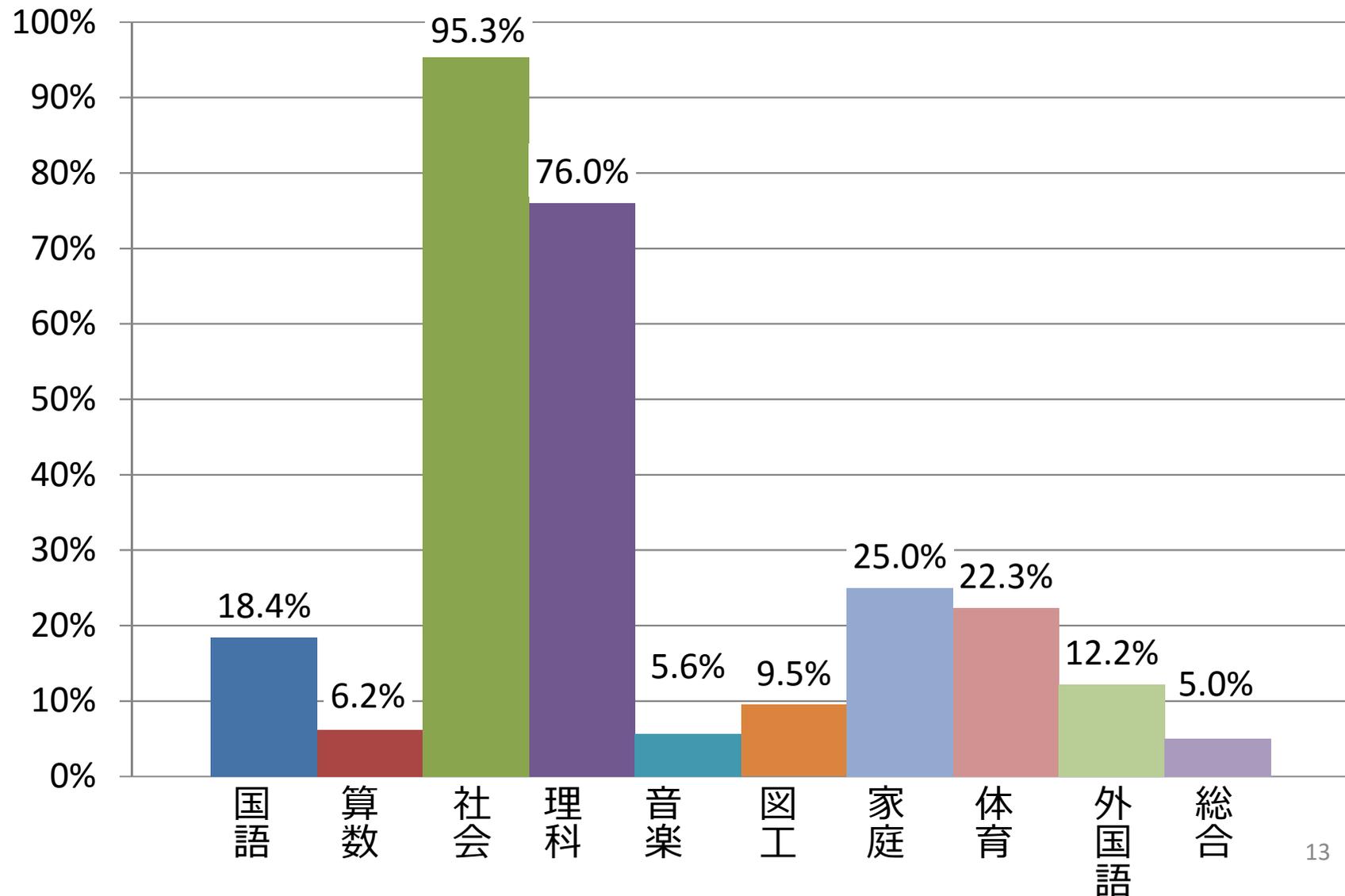
時間割例 (1学年 3クラスによる交換授業)

		月	火	水	木	金
1	教科	国語	算数	理科	国語	外国語
	指導者	A	A・新1	B	A	新2
2	教科	算数	国語	算数	社会	国語
	指導者	A・新1	A	A・新1	A	A
3	教科	学活	社会	国語	道徳	算数
	指導者	A	A	A	A	A・新1
4	教科	音楽	図工	学活	体育	社会
	指導者	専	専	A	C	A
5	教科	理科	外国語	家庭	算数	音楽
	指導者	B	新2	C	A・新1	専
6	教科	理科	総合※		総合※	体育
	指導者	B	A B C 専		A B C 専	C

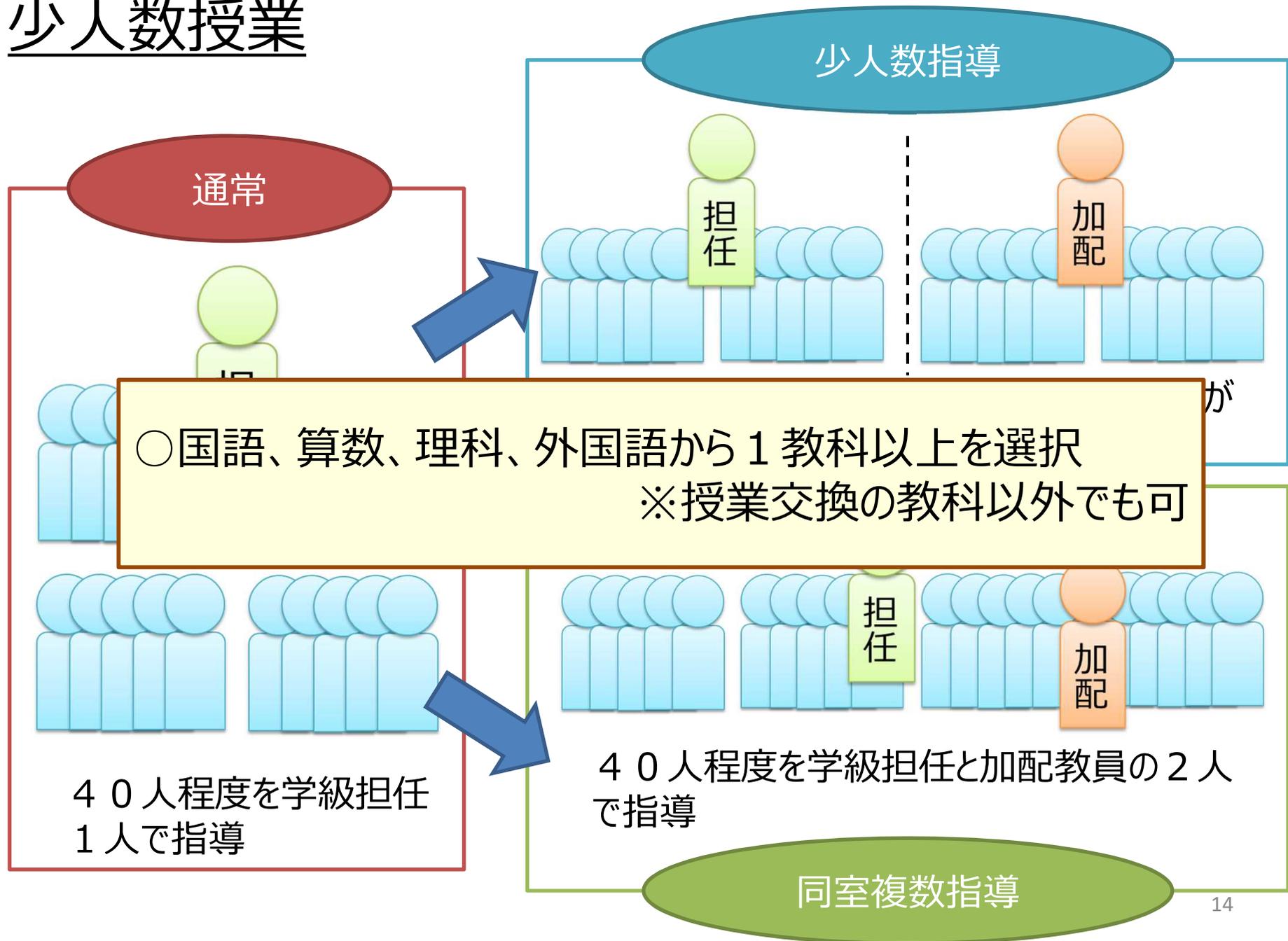
指導者	
A	1組担任
B	2組担任
C	3組担任
専	基礎定数専科
新1	新学習システム加配 (兵教担)
新2	新学習システム加配 (外国語)

※学年全体を、調べる
テーマごとに4つのグループに分け、各学年の担任(A、B、C)と専科教員が指導

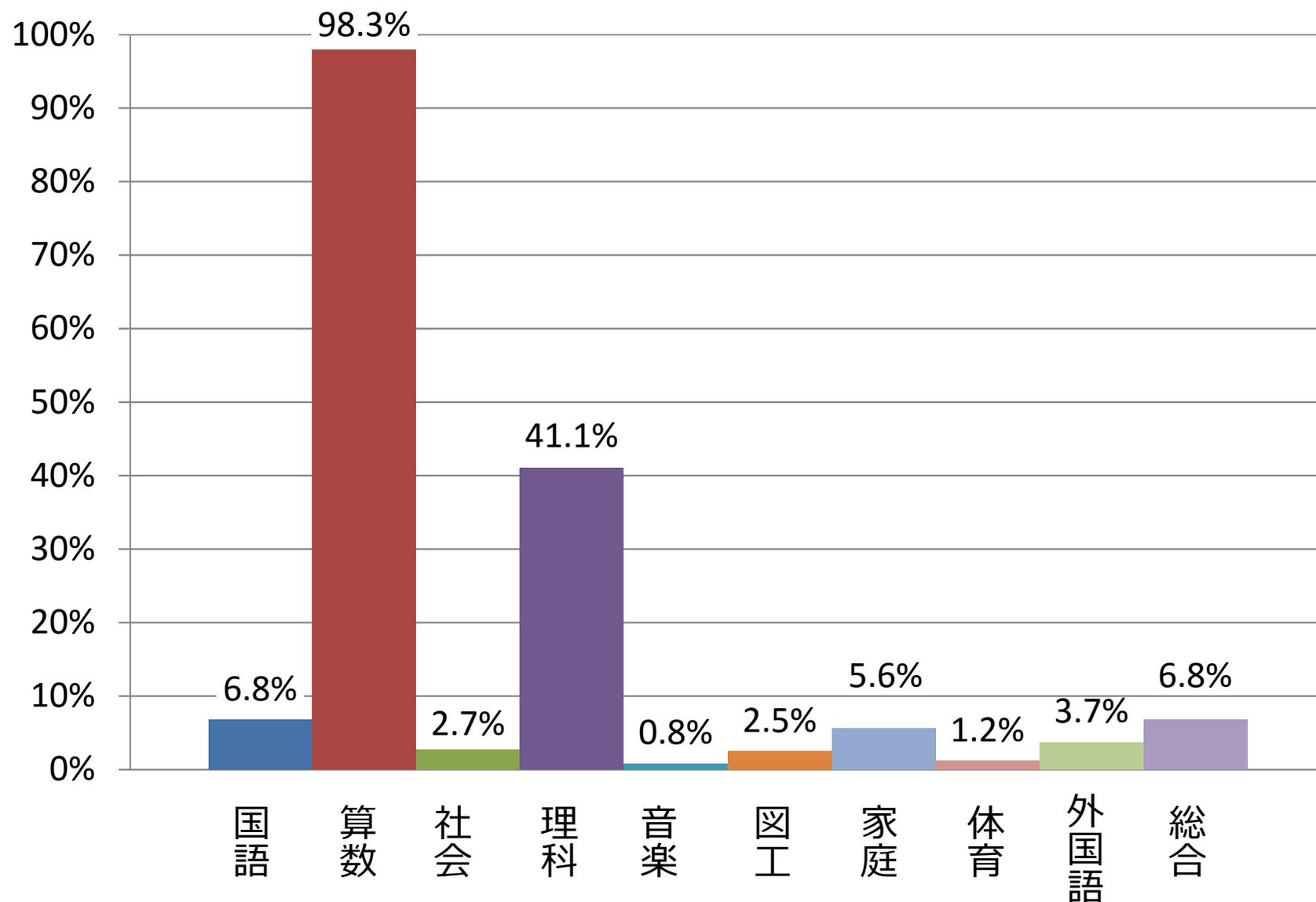
交換授業の実施状況(R1)



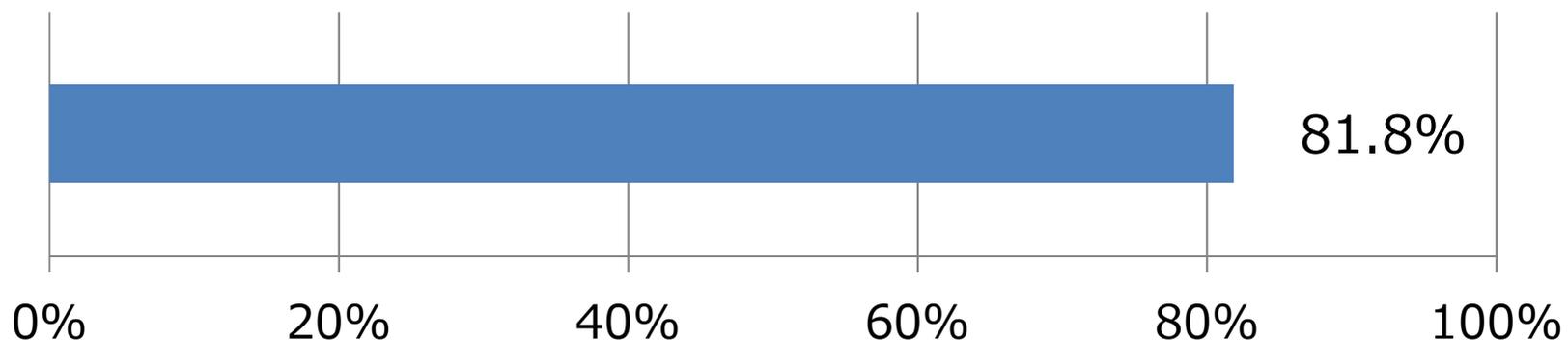
少人数授業



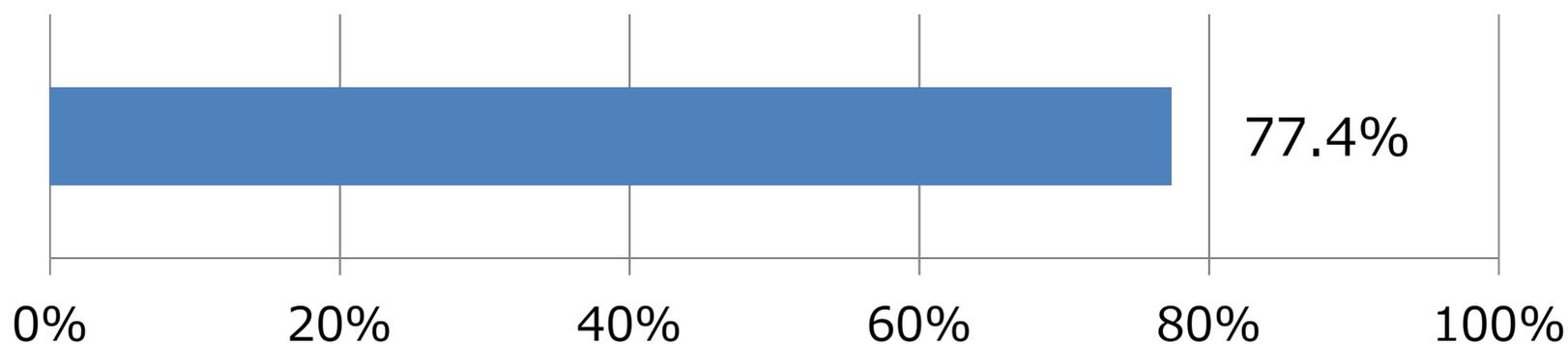
少人数授業の実施状況 (R1)



○教えてもらう先生が代わって、授業を楽しいと思うことが多くなった



○担任の先生以外の先生に気軽に話ができるようになったと思う



〈H 2 4兵庫型教科担任制推進状況調査結果：児童抽出調査〉

児童生徒にとって



先生の得意とする分野の授業なので分かりやすかったの

中学校のようなことを小学校で経験できるからよかった



いろいろな先生に相談できるので、気持ち became 楽になったの

教員との人間関係や学習経験の広がりによる子ども達の成長

保護者にとって



担任する先生がかわって、子ども達の学習に対する意欲が高まる

担任以外の先生から、はげましてもらったり、ほめてもらったりすることが増えた



多くの教員と関わりによる子ども達の成長を実感

教員にとって

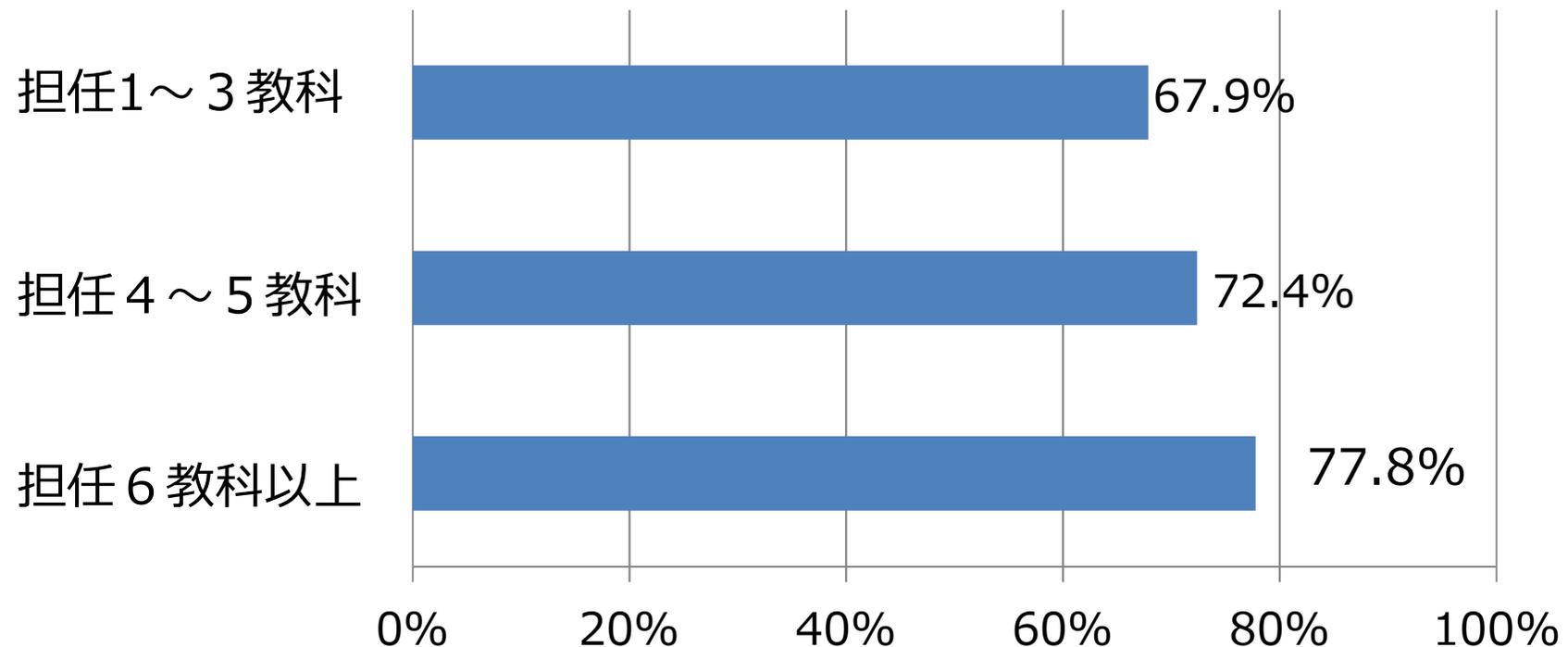
児童の変化に気付きやすくなり、問題の未然防止・早期対応ができたの

多くの教員がかかわることで、児童の良さを認め合う場面が多くなった



教員の多面的な児童理解に基づく、組織的・協力的な指導の充実

○小学校の時に兵庫型教科担任制で学習して、中学校の学習や生活に慣れることに役立った



〈H29小中一貫教育の評価・検証等に係る質問紙調査結果〉

発達や学びの連続性を確保するための小・中学校の円滑な接続

小学校における英語専科、高学年専科加配の活用

①英語専科加配の活用

〔本県における配置状況〕

年度	H30	R1	R2
配置校数	62校	114校	171校

〔教育効果〕※ R 1 配置校：「そう思う」と回答した割合

項目	割合
学級担任の負担軽減につながる	99.1%
中学校への円滑な接続につながる	95.6%
外国語科の導入に向けた課題解決につながる	91.2%
児童の学習意欲の向上につながる	86.8%
学級担任による指導より、教育効果が高い	84.2%

〔課題〕

- ・加配教員の条件が厳しいため、配置が進まない
（①中学校又は高等学校英語の免許状、②小学校の免許状を有し、かつCEFR B2（英検準1級）相当を有する者）

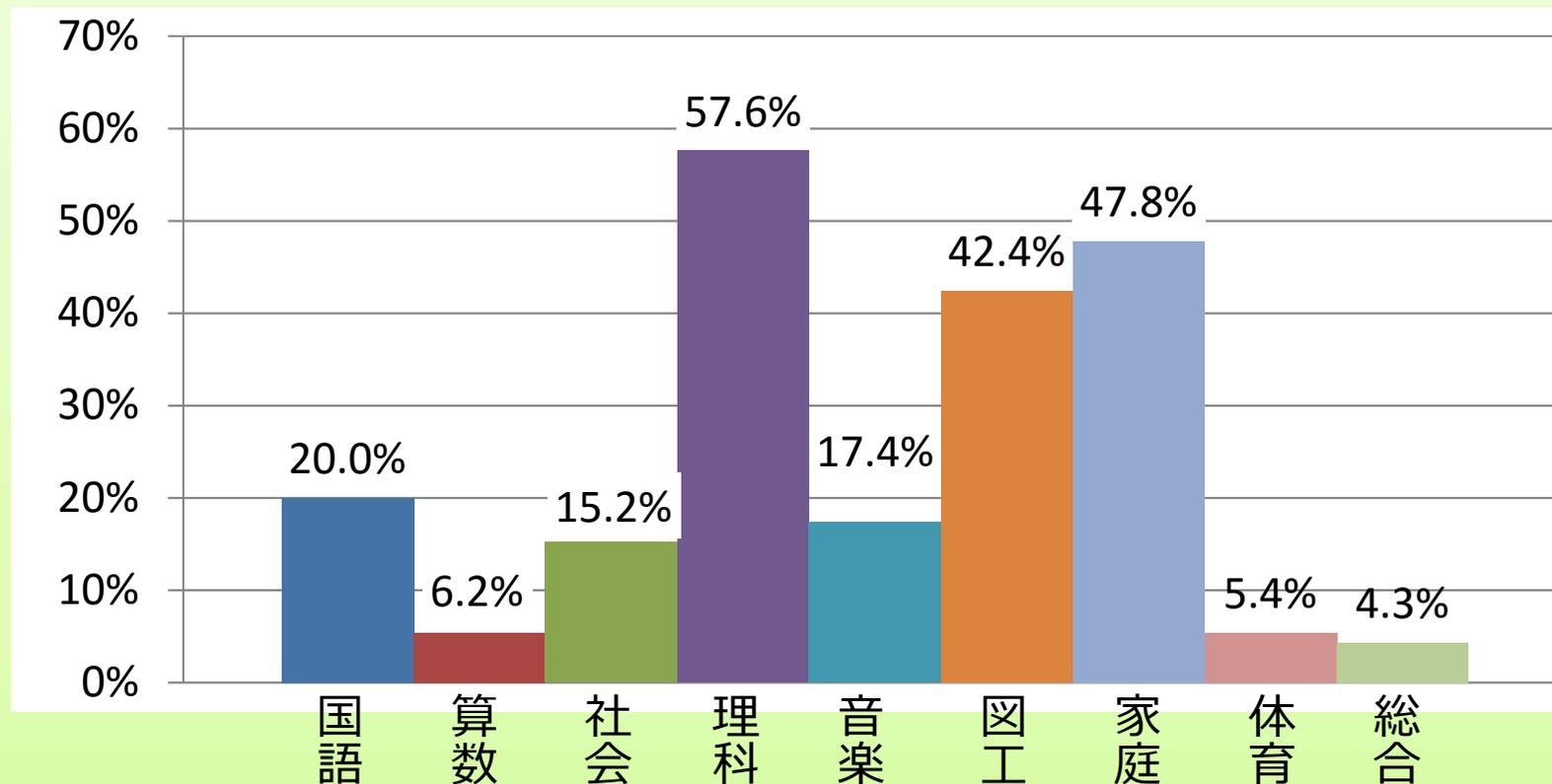
小学校における英語専科、高学年専科加配の活用

②高学年専科加配の活用

〔本県における配置状況〕

年度	R2
配置校数	92校

〔実施教科〕



兵庫型教科担任制 実施上の課題

〔現状の課題〕

- ① 1 学年 3 クラス、5 クラスなど、奇数クラスの場合、授業交換が複雑となる
- ② 5 , 6 年生が共に 1 クラスの場合、5 年担任と 6 年担任との授業交換となるので、教員の負担軽減に、つながりにくい
- ③ 数年に渡って、担当しない教科が出ることで、特に若手教員の指導の機会が減る

ご清聴ありがとうございました

